

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和7年3月解析分)



フタトゲチマダニ

1 今月のトピックス

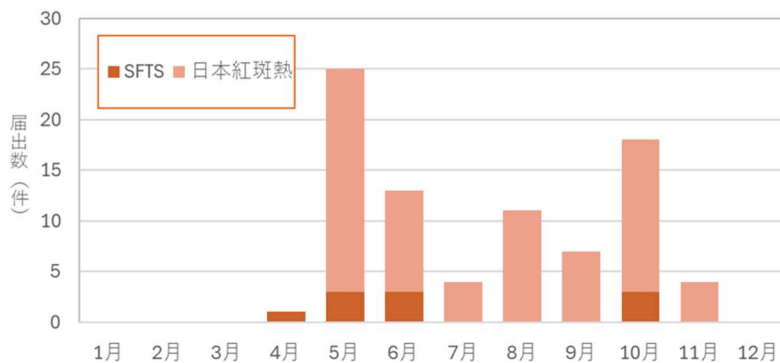
マダニによる感染症に注意しましょう

マダニは主に森林や草地などの屋外に生息しており、気温の上昇とともに活動が活発になります。そのため、県内では、例年4月頃からマダニが媒介する感染症*の発生の増加が確認されています。

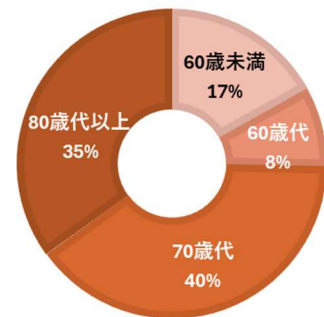
春になり、農作業・庭仕事・レジャーなど野外で活動する機会が増えますが、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニに咬まれないよう注意しましょう。

*重症熱性血小板減少症候群や日本紅斑熱など、病原体を持ったマダニに咬まれることにより発症する感染症（すべてのマダニが病原体を持つわけではありません）

マダニが媒介する感染症の発生状況（令和6年 広島県）



年齢別発生状況（令和6年 広島県）



疾病名	潜伏期間	症 状		発生件数	
		初期症状	特 徴	R5年	R6年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6～14 日	倦怠感 悪 寒	消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれんなど）リンパ節腫脹、呼吸器症状、出血症状（紫斑）	8	10
日本紅斑熱	2～8 日	急な発熱 (38～40℃)	発 疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分に多い	104	73

■予防方法

野外活動時の服装に気を付けましょう（長袖、長ズボン、帽子、手袋、首にタオルを巻く等）。

また、活動後は体や服をはたき、マダニが体についていないか確認しましょう。

■吸血中のマダニを見つけたとき

無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置してもらいましょう。

■マダニに咬まれた後に発熱等の体調変化があった場合

すぐに医療機関（内科・皮膚科など）を受診し、マダニに咬まれたことを医師に伝えてください。



詳しくは、広島県のホームページをご覧ください。

広島県 マダニ

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年 2月分(令和7年2月3日～令和7年3月2日:4週間分)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
1	インフルエンザ	890	1.90	6.19	↓	11	ヘルパンギーナ	2	0.01	0.03	
2	新型コロナウイルス感染症 (covid-19)※1	2,181	4.66		↗	12	流行性耳下腺炎	8	0.03	0.02	
3	RSウイルス感染症	387	1.31	0.21	↑	13	急性出血性結膜炎	3	0.04	0.01	
4	咽頭結膜熱	122	0.41	0.54	↗	14	流行性角結膜炎	103	1.36	0.43	↗
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	651	2.20	1.21	↗	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
6	感染性胃腸炎	3,476	11.74	6.02	↑	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
7	水痘	18	0.06	0.12	↓	17	マイコプラズマ肺炎	44	0.55	0.05	↓
8	手足口病	16	0.05	0.16	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	20	0.07	0.06	↗	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	16	0.20	0.01	↑
10	突発性発しん	38	0.13	0.21	→	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年 2月分(2月1日～2月28日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
20	性器クラミジア感染症	55	2.50	2.97	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	75	3.75	3.18	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.86	0.89	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.04	
22	尖圭コンジローマ	14	0.64	0.58	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
23	淋菌感染症	17	0.77	1.09	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 RSウイルス感染症 (0.46 → 1.31)
 感染性胃腸炎 (5.31 → 11.74)
 感染性胃腸炎(ロタウイルス)
 ○急減疾患 インフルエンザ (0.04 → 0.20)
 水痘 (19.03 → 1.90)
 (0.14 → 0.06)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増 減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患、月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2	1～12	13、14	20～23	15～19、24～26	
定点数	43	74	19	22	20	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾 患 名 (管轄保健所)
一 類	0	発生なし
二 類	32	結核(32)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)、東部保健所(10)、北部保健所(1)、広島市保健所(15)、呉市保健所(2)、福山市保健所(2)〕
三 類	7	コレラ(3)〔福山市保健所(3)〕 腸管出血性大腸菌感染症(4)〔北部保健所(1)、福山市保健所(3)〕
四 類	4	A型肝炎(1)〔呉市保健所(1)〕 デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕 レジオネラ症(2)〔広島市保健所(1)、呉市保健所(1)〕
五 類	45	アメーバ赤痢(1)〔東部保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(5)〔広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 急性弛緩性麻痺(1)〔東部保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔福山市保健所(2)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(4)〔広島市保健所(3)、福山市保健所(1)〕 水痘(入院例)(1)〔東部保健所(1)〕 梅毒(17)〔広島市保健所(14)、福山市保健所(3)〕 百日咳(11)〔西部保健所(2)、広島市保健所(9)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2025年2月28日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	27	32											59
	小 計	27	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59
三類	コレラ	0	3											3
	腸管出血性大腸菌感染症	3	4											7
	小 計	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
四類	E型肝炎	1	0											1
	A型肝炎	0	1											1
	エムボックス	0	0											0
	つつが虫病	0	0											0
	デング熱	1	1											2
	重症熱性血小板減少症候群	0	0											0
	日本紅斑熱	0	0											0
	日本脳炎	0	0											0
	マラリア	0	0											0
	レジオネラ症	6	2											8
	レプトスピラ症	0	0											0
	小 計	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
五類全数	アメーバ赤痢	0	1											1
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0	0											0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	5											10
	急性弛緩性麻痺	0	1											1
	急性脳炎	6	0											6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0											1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	1											7
	後天性免疫不全症候群	0	2											2
	ジアルジア症	0	0											0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2											5
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0											1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4											12
	水痘(入院例)	0	1											1
	破傷風	0	0											0
	梅毒	22	17											39
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0											0
	百日咳	15	11											26
	風しん	0	0											0
	播種性クリプトコックス症	1	0											1
	麻しん	0	0											0
	小 計	68	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113
合 計		106	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	194

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類：	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類：	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類：	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類：	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキーマウンテン紅斑熱
五類全数：	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和7年2月1日～3月19日

資料作成：令和7年3月19日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
114	122	83	14	25

2 四類感染症からの検出状況

検出なし

3 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	22	22	鼻咽頭, 咽頭	R7. 2月～3月	1～46	西部東, 東部, 東部(福山)
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	1	1	咽頭	R7月. 3月	23	東部
	AH3型インフルエンザウイルス	11	11	鼻咽頭, 咽頭	R7. 2月～3月	2～46	西部東, 東部, 北部
	B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	2	2	咽頭	R7. 2月	9, 17	東部
感染性胃腸炎	ノロウイルスGⅡ(NT)	1	1	便	R7. 2月	1	西部東
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT+ヒトコロナウイルスHKU1	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	1	西部東
RSウイルス感染症	RSウイルス	3	3	鼻咽頭	R7. 2月～3月	1	西部東

4 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R7. 2月, 3月	0, 11	西部東
	RSウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	14	西部東
	ヒトメタニューモウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 3月	14	西部東
	ヒトコロナウイルスNL63	2	2	鼻咽頭	R7. 2月	2, 14	西部東
	ヒトコロナウイルスNL63+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	9	西部東
	ヒトコロナウイルスHKU1	2	2	鼻咽頭	R7. 2月	11, 13	西部東
下気道炎	ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R7. 2月	0, 7	西部東, 北部
	RSウイルス	4	4	鼻咽頭	R7. 2月～3月	1, 3	西部東
	RSウイルス+ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R7. 2月	2, 3	西部東
	ヒトメタニューモウイルス	3	3	鼻咽頭	R7. 2月～3月	0～8	西部東
	ヒトメタニューモウイルス+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	11	西部東
	ヒトコロナウイルスHKU1+新型コロナウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	2	西部東

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
かぜ様症状	ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	10	北部
	ヒトメタニューモウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	15	北部
	ヒトメタニューモウイルス+ライノウイルス +ヒトコロナウイルスHKU1	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	3	北部
	ヒトメタニューモウイルス+ヒトコロナウイルスNL63	1	1	咽頭	R7. 2月	5	北部
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	14	北部
	ヒトコロナウイルスHKU1	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	6	北部
	ヒトコロナウイルスOC43+NL63+新型コロナウイルス+ ヒトメタニューモウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	7	北部
	マイコプラズマ・ニューモニエ	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	9	北部
メタニューモウイルス感染症	ヒトメタニューモウイルス	8	8	鼻咽頭	R7. 2月～3月	1～6	西部東
	ヒトメタニューモウイルス+ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R7. 2月, 3月	2, 3	西部東
マイコプラズマ感染症疑い	ヒトメタニューモウイルス+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	10	北部
発疹	ヒトコロナウイルスNL63	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	3	北部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

5 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和7年3月1日～令和7年3月19日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	0	
西部(広島)	0	
西部(呉)	0	
西部東	69	麻疹(成人)疑い(6), インフルエンザ(4), 新型コロナウイルス感染症(8) 感染性胃腸炎(3), 咽頭結膜熱(2), RSウイルス感染症(3), 上気道炎(17), 下気道炎(14), メタニューモウイルス感染症(12)
東部	29	急性弛緩性麻痺(2), インフルエンザ(9), 新型コロナウイルス感染症(15), 無菌性髄膜炎(3)
東部(福山)	3	新型コロナウイルス感染症(3)
北部	18	インフルエンザ(1), A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1), 上気道炎(1), 下気道炎(1), かぜ様症状(12), マイコプラズマ感染症疑い(1), 発疹(1)
福山市	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)
呉市	2	ダニ類媒介感染症疑い(2)